

1. 職名・氏名 助教・今井拓哉

2. 学位 学位 博士、専門分野 理学、授与機関 金沢大学、授与年月 2019年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 恐竜学（2019年度前期・2単位）、生命科学（2019年度後期・2単位）、実践恐竜学（2019年度前期・2単位）
② 内容・ねらい（自由記述） 恐竜学：恐竜をモデルケースとし、脊椎動物のマクロ進化や生態を理解する 生命科学：鳥類の歴史を例とし、脊椎動物の進化や生態に関する理解を深める
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 恐竜学：恐竜と現生動物の比較を行い、絶滅した恐竜のイメージ助ける 生命科学：分類群に重きを置くことはせず、これまで理解されてきた進化や生態に関する理論がどのように鳥類で見られるかの解説を中心とした 実践恐竜学：講義の半分を占める実習では、恐竜博物館と連携した福井県ならではの学習を行った。
(2)非常勤講師担当科目
① 担当科目名（単位数） 開講学校名 放送大学福井学習センター 恐竜を学ぶ（2単位）
② 内容・ねらい（自由記述） 恐竜をモデルケースとし、脊椎動物のマクロ進化や生態を理解する
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 恐竜と現生動物の比較を行い、絶滅した恐竜のイメージ助ける
④ 本学における業務との関連性（自由記述） 恐竜学にて行っている講義を、放送大学のより広い年齢層向けに専門性を強めたもの。
(3)その他の教育活動
内容 福井県立恐竜博物館における展示設営、監修 福井県立恐竜博物館での一般来館者向けゼミや自然教室

4. 研究業績

(1)研究業績の公表

① 論文

(タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名(号数)、掲載(受理)年月日)

New Early Cretaceous dinosaurian eggshell *Multifissoolithus shimonosekiensis* (Dinosauria, Dongyangoolithidae) from the Lower Cretaceous of Shimonoseki, Yamaguchi, Southwestern Japan. Imai, T., Azuma, Y., Yukawa, H. *Historical Biology*. 2020年3月.

An unusual bird (Theropoda, Avialae) from the Early Cretaceous of Japan suggests complex evolutionary history of basal birds. Imai, T., Azuma, Y., Kawabe, S., Shibata, M., Miyata, K., Wang, M., Zhou, Z. *Communications Biology* (2) 399. 2019年11月.

Fossil eggs associated with a neoceratopsian (*Mosaiceratops azumai*) from the Upper Cretaceous Xiaguan Formation, Henan Province, China. Jackson, F. D., Zheng, W., Imai, T., Jackson, R. A., Jin, X. *Cretaceous Research* 91. 457-467. 2018年11月.

Description of bird tracks from the Kitadani Formation (Aptian), Katsuyama, Fukui, Japan with three-dimensional imaging techniques. Imai, T., Tsukiji, Y., Azuma, Y. *Memoir of the Fukui Prefectural Dinosaur Museum* (17) 1-8. 2017年12月.

First confirmed fossil turtle eggshells (oogenus *Testudoolithus*) from the Lower Cretaceous of Thailand. Imai, T., Jintasakul, P., Azuma, Y., Noda, Y., Chokchaloemwong, D. *Memoir of the Fukui Prefectural Dinosaur Museum* (15) 1-6. 2016年12月.

A bizarre theropod from the Early Cretaceous of Japan highlighting mosaic evolution among coelurosaurians. Azuma, Y., Xu, X., Shibata, M., Kawabe, S., Miyata, K., Imai, T. *Scientific Reports* 6. 2016年2月.

② 著書

(タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ)、出版年、出版社名)

恐竜の卵 ～恐竜誕生に秘められた謎～. 今井拓哉. 2017. 福井県立恐竜博物館

③ 学会報告等

(タイトル、報告学会(大会)名(開催年月日)、共同報告者の有無(共同報告の場合は主たる担当箇所))

古生物学とデザインの相乗効果: *Allosaurus* (竜盤目: 獣脚亜目) の復元を例に. 日本古生物学会 2020年2月8日. 戸坂茂茄実, 吉田雅則, 今井拓哉, 服部創紀, 堀口直人

Description of Dongyangoolithid Eggshell from the Lower Cretaceous of Shimonoseki, Yamaguchi, Southwestern Japan: with remarks on Paleobiogeographic Distribution of Dongyangoolithid-type Eggs in East Asia. International Symposium on Asian Dinosaurs 2019 in Mongolia 2019年7月25日. Imai, T., Azuma, Y., Yukawa, H.

Lower Cretaceous Non-marine Formations of the Tetori Group in Eastern Margin of Asia: Fossils and Paleoenvironments. International Ocean Discovery Program (IODP) Expedition 369 "Australia Cretaceous Climate and Tectonics" Postcruise meeting in Kanazawa Mini-Symposium "Jurassic-Early Cretaceous non-marine fossils and paleoenvironments in mid- to high latitude". 2019年6月. Imai, T.

手取層群北谷層(前期白亜紀)から産出した基盤的鳥類: 系統的、古生物地理学的意義. 日本古生物学会 2019年年会. 2019年6月. 今井拓哉, 東洋一, 柴田正輝, 宮田和周, 河部壮一郎.

The Early Cretaceous Birds from the Kitadani Formation, Katsuyama, Fukui, Japan: a Unique Window to the Extinct Avifauna in the Far East. The 6th International Symposium of International Geoscience Programme IGCP Project 608. 2018年11月. Imai, T. Azuma, Y., Shibata, M., Miyata, K., Kawabe, S., Tsukiji, Y.

山口県下関市の関門遭遇下関亜層群(前期白亜紀後期)から産出した国内初のデンドロウーリトウス卵科の卵殻化石. 日本古生物学会 2018年年会. 2018年6月. 今井拓哉, 東洋一, 湯川弘一, 高橋文雄, 山根謙二, 篠田健二, 清水好晴.

恐竜の繁殖. 放送大学福井学習センター開設 20 周年記念公開シンポジウム: 福井県恐竜発掘研究の検証. 2018 年 3 月. 今井拓哉.

下関における恐竜卵化石発見の意義～恐竜卵化石研究の最前線～. 「発見! 恐竜卵化石」開催記念講演会・ミニシンポジウム. 2017 年 12 月. 今井拓哉.

Review of fossil dinosaur eggs and eggshells from Japan: with remark on the recently-discovered specimens from Shimonoseki, Yamaguchi, western Japan. International Symposium on Dinosaur Egg Research and Exhibition. 2017 年 7 月. Imai, T.
Learning from small pieces of eggshells. 日本古生物学会 2016 年年会. 2016 年 6 月. 今井拓哉.

手取層群北谷層 (福井県勝山市) から産出した、日本初の白亜紀前期鳥類全身骨格化石. 日本古生物学会 2016 年年会. 2016 年 6 月. 今井拓哉.

④ その他の公表実績

しつもん! ドラえもん 教えて! 生物編 (監修). 朝日新聞社. 朝日新聞社. 2019 年 7 月
生物の科学 遺伝 (監訳). 公益財団法人, 遺伝学普及会, 編集委員会. エヌ・ティー・エス. 2019 年 6 月

恐竜博 2019 (寄稿). 国立科学博物館. NHK, NHK プロモーション, 朝日新聞社. 2019 年 6 月

獣脚類: 鳥に進化した肉食恐竜たち (寄稿). 服部創紀. 福井県立恐竜博物館. 2018 年 6 月

下関市の恐竜卵化石～日本と世界における重要性～ (講演録). 今井拓哉. 下関市立考古博物館研究紀要 22. 1-12. 2018 年 3 月.

福井で羽毛恐竜発見! 日本の太古の翼のなぞを探る (寄稿). 今井拓哉, 河部壮一郎. Birder (2016 年 12 月) 30-31. 2016 年 12 月

(2) 学会活動等

学会でのコメンテーター、司会活動 (担当報告名、担当学会 (大会) 名 (開催年月日))

学会での役職など (学会名)

学会・分科会の開催運営 (担当学会 (大会) 名 (開催年月日)、開催場所)
日本古生物学会 2016 年年会. 2016 年 6 月. 福井県立大学.

(3) 研究会活動等

① その他の研究活動参加 (参加研究会名、調査活動名 (期間))

② その活動による成果

(4) 外部資金・競争的資金獲得実績

2019-2020 年度福井県立大学地域連携研究推進支援 (3400 千円)

2019 年度第 28 回公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団学術研究助成 (689 千円)

(5) 特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間） 福井県立恐竜博物館主査併任
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時）
②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時）
③その他（名称、活動場所、活動期間）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等） （活動内容、主たる活動場所、活動期間）

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長） （職名、期間）
(2)委員会・チーム活動 （名称、期間）
(3)学内行事への参加 （行事名、参加日時）
(4)その他、自発的活動など （活動名、活動内容、活動期間）